第３学年　音楽科学習指導案

日　時　平成26年11月6日（ 木 ）　5校時
学　級　3年A組　男子12名　女子13名　合計25名
場　所　音楽室
授業者　教諭　千葉　裕子

１　題材名　『音楽を形作っている要素と曲想とのかかわりを理解し、
音楽の特徴を、その背景となる歴史と関連づけて作曲者の思いを感じながら聴こう。』

［教材名］　連作交響詩「わが祖国」より「ブルタバ（モルダウ）」

２　題材について

（１）　教材観

世界的に有名な曲であり、テレビCMでも何度も取り上げられているので、生徒たちも一度は耳にしたことがあるものと思われる。曲中には標題がつけられており、この標題を描写し、曲想を何度も変えながら進行していく。深い森の源流から川幅を増してエルベ川に注いでいく様子を、オーケストラの多様な響きとともに味わわせることができる。また、当時のチェコの社会情勢から、自由と平和への願いを音楽に託したスメタナの思いを感じ取らせることができる。たとえどのような状況にあっても、よい音楽は生まれ、人々の心に深くしみわたっていくものであることを感じてもらいたい。

［共通事項について］　旋律、音色、強弱、速度など

（２）　生徒観

３年生は、日常の合唱活動から、『歌詞を表現すること』や『気持ちを込めて歌うこと』等を意識できるようになっている。しかし、それは『言葉』を通してである。本題材のようなオーケストラ曲は馴染みが浅く、歌詞のない曲にはあまり慣れていない。吹奏楽部の生徒を中心に、歌詞がなくても曲想を直感的に感じ取ったり、音色の美しさを味わったりできる生徒もいるが少数である。音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを理解し、それらを通して音楽のよさや美しさを味わわせたい。また、その音楽の背景に、どのような歴史や文化、作曲者の思いが込められているのかを考えることができる心を育てたい。

（３）　指導観

（１）（２）を踏まえて、まず、曲そのものの美しさを感じ取らせたい。曲中の各標題がもつ川の情景を、音楽を形作っている要素や構造から気づき、考え、想像し、作曲者スメタナがどんなに祖国を思って書き上げたのかを感じ取らせたい。曲は１２分と短めではあるが、７つの場面全てを熟考させるために、班で分けて場面ごとに考えさせ、他の班が感じ考えた情景を、自身の考えとつなぎ合わせ、学級全体としてスメタナの思いに迫っていきたい。次時は、作曲された当時のチェコの社会情勢を知り、人々の生活が困難な中で作曲されたものであることを理解させたい。

本地区は、東日本大震災で多大な被害を受けた。現在も不自由な生活を強いられている家庭は多々あり、生徒たちの心情にも少なからず影響している。そのような状況と当時のチェコを重ね合わせるわけではないが、どんなに困難な状況下でも、よい音楽は生まれ、人々に深い感銘を与えることができる。この曲の存在が生徒たちの心に勇気や希望として少しでも残ってくれることを願って鑑賞させたい。

3　題材の目標と言語活動について

（1）　題材の目標

①　「ブルタバ」の音楽を形作っている旋律、音色、強弱、速度等を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、曲の誕生した背景となる歴史と関連づけて、作曲者の思いを感じながら聴くことができる。

［鑑賞の能力］

（2）　本校における音楽科における言語活動について

・音楽活動や音楽表現に対し、自分の知覚したことや感受したこと、自分の思いや意図について、発表したり表現したりすることと捉えている。

・鑑賞においては、自分の知覚したことや感受したこと、自分の思いや意図について、言葉等で伝えることである。また、他の意見も尊重し、比較したり、柔軟によさを取り入れたりして、よりよい音楽の味わい方へと高めていくステップのことと考えている。

（3）　本校における音楽科における言語活動の工夫・充実について

記入したり発表したりした考えや意見を、次の音楽活動に反映させるために・・・・

・互いの意見を認め合うこと

・本時の目標に向けて、練習したり、聴いたりすること

・よりよい表現方法や鑑賞のし方を選ぶこと

等の活動を行っている。

（4）　本題材における言語活動の工夫・充実の重点について

①　班内意見交流　学び合いタイム

・自分が感じたことを、班集団の中で積極的に伝えることができる。

・他の意見を聞いて、なるほどと思える柔軟さもあるといい。

②　３行詩を作る

・主語を川とし、想像力をふくらませて詩に表すことができる。

・班でまとめた詩を、表情豊かに発表することができる。

③　批評文によるまとめ

・前時で学んだことと本時で学んだことから、作曲者の思いが表れている部分や心を動かされた部分について、理由をつけて表すことができる。

4　題材の評価規準

音楽への関心・意欲・態度	鑑賞の能力
・「ブルタバ」の音楽を形づくっている旋律、音色、強弱、速度や、構造と曲想とのかかわりに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 ・音楽の特徴とその背景となる歴史に関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。	・「ブルタバ」の音楽を形づくっている旋律、音色、強弱、速度などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、それらをもとに言葉（詩）等で表すなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 ・「ブルタバ」の音楽を形づくっている旋律、音色、強弱、速度などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、曲の誕生した拝啓となる歴史と関連づけて作曲者の思いを感じ取りながら鑑賞している。

5　題材の指導計画　（全２時間）

	学習目標	評価規準		評価方法	用いる言語活動
		関心・意欲・態度	鑑賞の能力		
1 本時	・音楽を形づくっている旋律、音色、強弱、速度等を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、味わって聴く。	・「ブルタバ」の音楽を形づくっている旋律、音色、強弱、速度や、構造と曲想とのかかわりに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。	・「ブルタバ」の音楽を形づくっている旋律、音色、強弱、速度などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、それらをもとに言葉（詩）等で表すなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	・観察 ・シート	・意見交流 ・３行詩発表
2	・曲が誕生した背景となる歴史と関連づけて、作曲者の思いを感じながら聴く。	・音楽の特徴とその背景となる歴史に関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。	・「ブルタバ」の音楽を形づくっている旋律、音色、強弱、速度などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、曲の誕生した拝啓となる歴史と関連づけて、作曲者の思いを感じ取りながら鑑賞している。	・観察 ・シート	・意見発表 ・ふり返りの発表

6　本時の指導

（1）　目標

①　音楽を形づくっている旋律、音色、強弱、速度等を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、味わって聴くことができる。　［鑑賞の能力］

（2）　本時の評価規準

項　　目	評　価　規　準
ア　音楽への関心・意欲・態度	「ブルタバ」の音楽を形づくっている旋律、音色、強弱、速度や、構造と曲想とのかかわりに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組むことができる。
イ　鑑　賞　の　能　力	「ブルタバ」の音楽を形づくっている旋律、音色、強弱、速度などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、それらをもとに言葉（詩）等で表すなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができる。

（3）　本時の構想（本時における言語活動の工夫・充実）

①　１～５までは教師主導で、短時間で進めたい。

②　学び合いタイムは十分に時間をかけ、各自の考えを班内で発表に生かしたい。

③　鑑賞のまとめ方は『私は・・・』ではなくて『ブルタバ川は・・・』の３行（４行）詩とするので、視点の変換について確実におさえさせたい。

④　本時の振り返りは短時間ではあるが、『そのように思った理由』という部分を大切にして記述させたい。

⑤　チェコに悲しい歴史と文化があったことを認識させず、まず曲そのものの美しさに親しませたい。

（4）展開

段階	学習内容	指導上の留意点	評価の観点・規準・方法
3分前 導入 4分	♪合唱「いつかこの海をこえて」 1　あいさつ 2「ブルタバ」の基本事項について復習する。 3　学習課題を把握する。	♪のびのびと歌わせる。 1　笑顔であいさつをする。 2　作曲者、国名の他に、曲名、地図、標題等について触れる。 3　視点が変わることを理解させる。	・気持ちよい挨拶ができているか ・前時の学習内容が定着しているか ・課題の内容を理解できるか
	学習課題 ブルタバ川の気持ちになって、各場面の様子を表そう。		
展開 40分	4「ブルタバ」鑑賞 ①ワークシートに各場面の特徴を記入する。 ②『ブルタバの２つの源流』を再度聴き、特徴を確認する。 ③まとめ方をつかむ。	4　DVD「ブルタバ」をかける。 ①旋律、音色、強弱、速度やこれらの組み合わせがどうなっているか等を明らかにさせる。 ②前半（源流）と後半（ブルタバを表す旋律）に分けて発表させる。 ③出てきた考えをまとめ、発表例として板書する。	○［鑑賞］ ・いくつ気づいたか【観察】
	5　場面の特定 ①どの場面をまとめるか話し合う。 ②まとめたい場面に立候補する。	5　各班に１場面ずつ選ばせる。 ①机を並べ替える指示をする。 ②複数班が立候補した時は、難易度を考えて振り分ける。	○［関心・意欲・態度］ ・その部分のどんな要素が気に入ったのかを伝えられるか 【観察】【ワークシート】
	6　場面解説の話し合い 学び合いタイム ①指定の場所で曲を聴く。 ②とらえた特徴を出し合う。 ③場面解説を３行詩にまとめる。 ④用紙に記入し、黒板に貼る。	6　机間巡視を行う。 ①音量を考えて場所を指定する。 ②活発な話し合いを促す。 ③主語が『ブルタバ川』であることを確認させる。 ④字は大きく書くように指示する。	○［鑑賞］ ・取り上げた要素が、どのように音楽表現と関わっているのかを考えることができるか 【観察】【発言】【ワークシート】
	7　まとめの鑑賞 ①担当した場面を朗読する。 ②場面を想像しながら聴く。	7　まとめの鑑賞 ①各場面で区切りながら曲をかける。 ②各ポイントで詩の補足をする。	○［鑑賞］ ・場面解説に沿って川とその周りの情景を想像して聴いているか 【観察】
	8　意見交換 他の班の良い点を評価し合う。	8　ほめ上手を促す。 また、本時の学習課題が達成されたかどうかを問いかける。	○［関心・意欲・態度］ ・他の意見を大切にする柔軟な気持ちがあったか【観察】
終末 6分	9　自己評価記入 10　次時連絡 11　あいさつ	9　わかった点をくわしく記入させる。 10　作曲に至るまでに悲しい歴史があったことを告げる。 11　笑顔であいさつをする。	・学習課題が解決できたか

鑑賞曲「ブルタバ」学習プリント

記入日　　月　　日（　　）　　＿＿年＿＿組＿＿＿番＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

1　各場面の特徴を書きましょう。

場　面	曲　の　特　徴	そのように思った理由
Aブルタバの２つの源流	【前半】 【後半】	
B森の狩猟		
C農民の結婚式		
D月の光、水の精の踊り		
E聖ヨハネの急流		
F幅広く流れるブルタバ		
Gビシェフラト		

2　＿＿＿＿の部分の特徴を出し合い、３行詩を書いてみましょう。（４行詩可）

順	川の気持ちをあらわした『　詩　』	そのようにまとめた理由
①		
②		
③		
④		

3【振り返り①】班発表を聞いて、「なるほどっ！」と思えたところはどの部分でしたか？　「なるほどっ！」思った理由も書きましょう。

4【振り返り②】今日の授業を通して、曲のどの部分が気に入りましたか？　理由も書きましょう。